

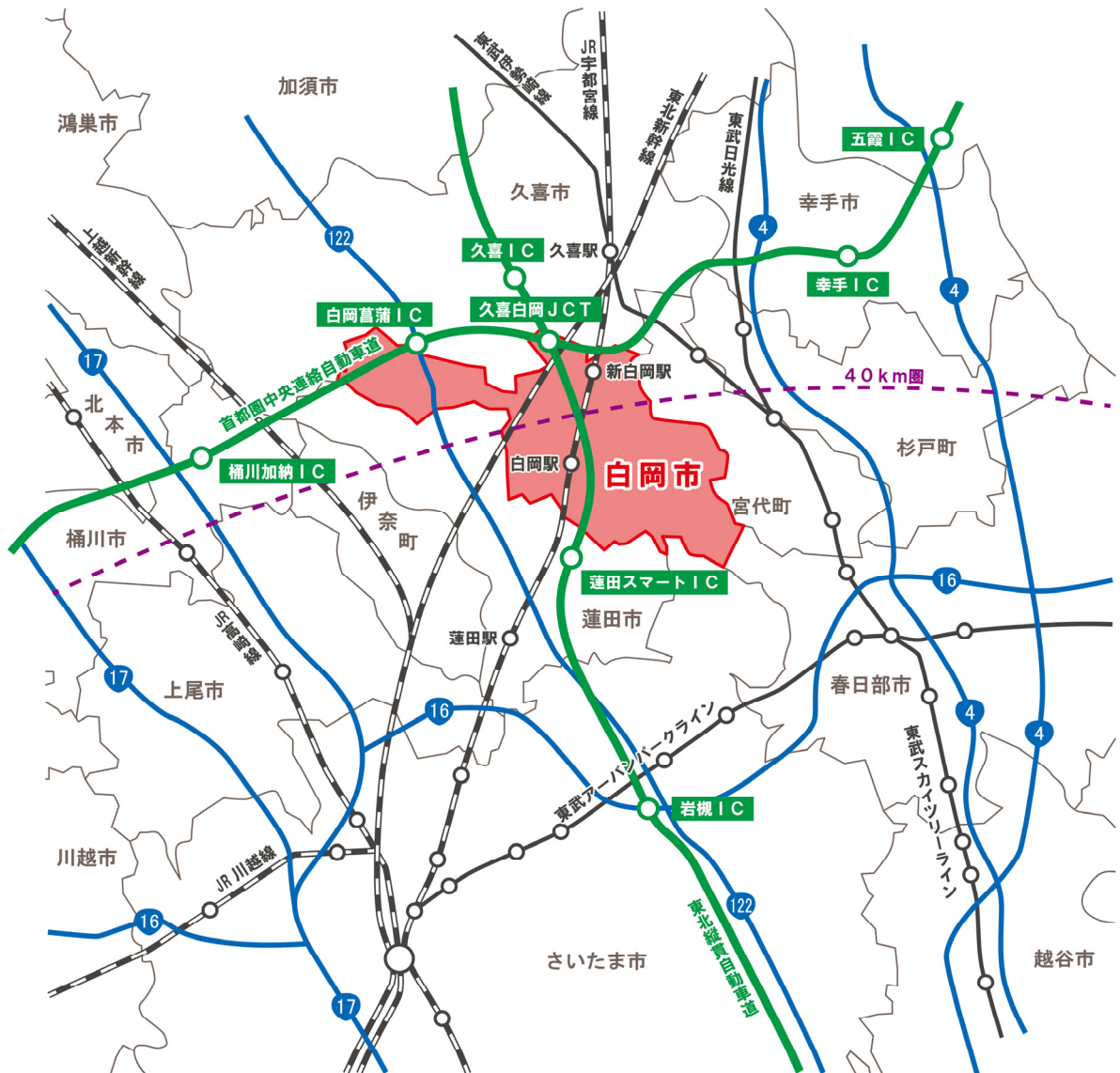
1章 白岡市の現況

1 白岡市の位置

本市は、埼玉県の東部、首都圏40kmに位置しています。市域は、東西に長く、南東部をさいたま市及び春日部市、南西部を蓮田市、北部を久喜市、東部を宮代町とそれぞれ接し、中央を東北新幹線、JR宇都宮線及び東北縦貫自動車道（以下「東北道」という。）が縦貫しています。

平成27年（2015年）3月には、JR宇都宮線がJR東海道線へ乗り入れする上野東京ラインが開通し、同年10月には、首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という。）の埼玉県内全線が開通したことにより、交通の利便性が向上しています。

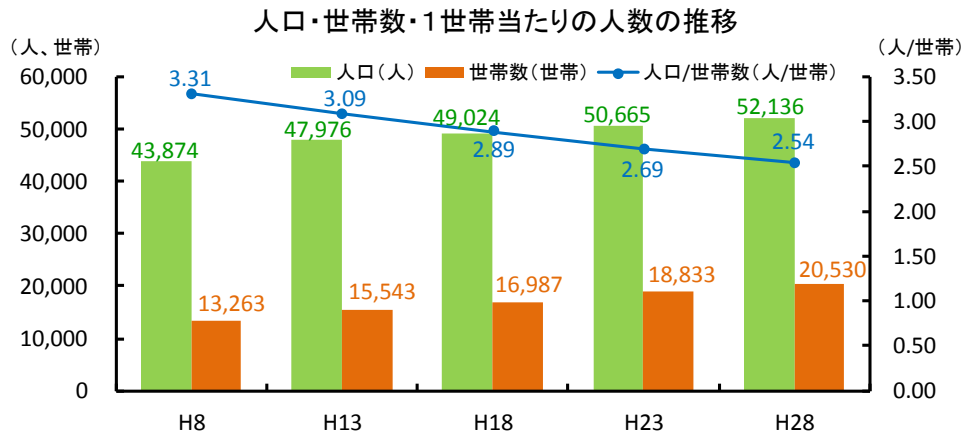
本市の位置



2 人口推移・動向

(1) 人口・世帯数

平成28年（2016年）4月現在の人口・世帯数は、52,136人、20,530世帯となり、人口・世帯数ともに増加傾向にあります。1世帯当たりの人数は、平成8年（1996年）は3.31人/世帯でしたが、平成18年（2006年）には2.89人/世帯と1世帯当たり3.0人以下となり、平成28年（2016年）には2.54人まで減少しています。



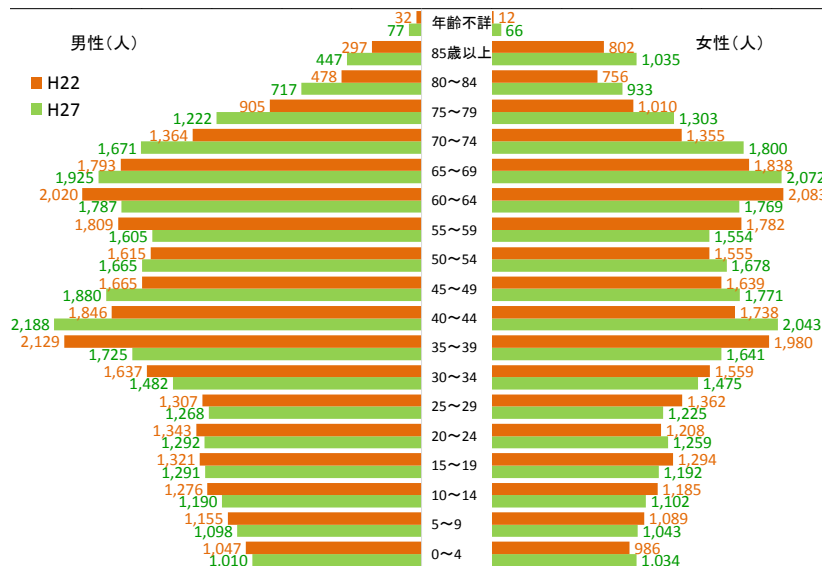
※各年4月1日の数値 資料：住民基本台帳

平成24年（2012年）の住民台帳法改正により人口・世帯数に外国人が記録されるようになったため、平成23年（2011年）以前の人口・世帯数においても外国人登録人口を含めている。

(2) 年齢別人口

平成27年（2015年）国勢調査における年齢別人口は、年少人口（0～14歳）6,477人、生産年齢人口（15～64歳）31,790人、高齢人口（65歳以上）13,125人です。高齢人口比率は25.5%となっており、平成22年時の21.1%を上回っています。

人口ピラミッド（年齢5歳階級）

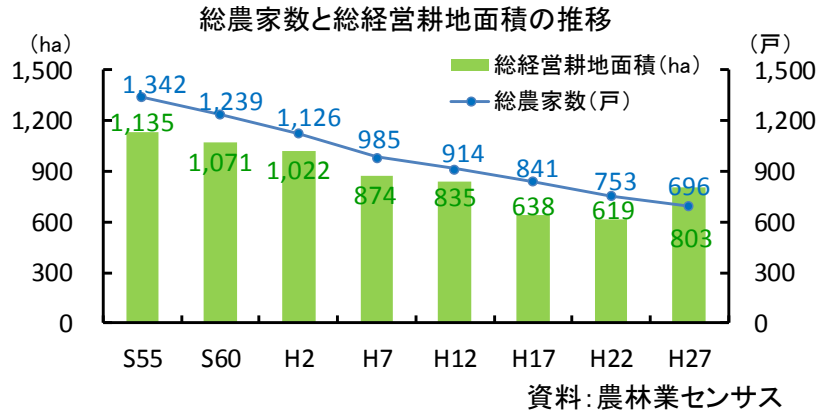


資料：平成27年国勢調査

3 産業

(1) 農業

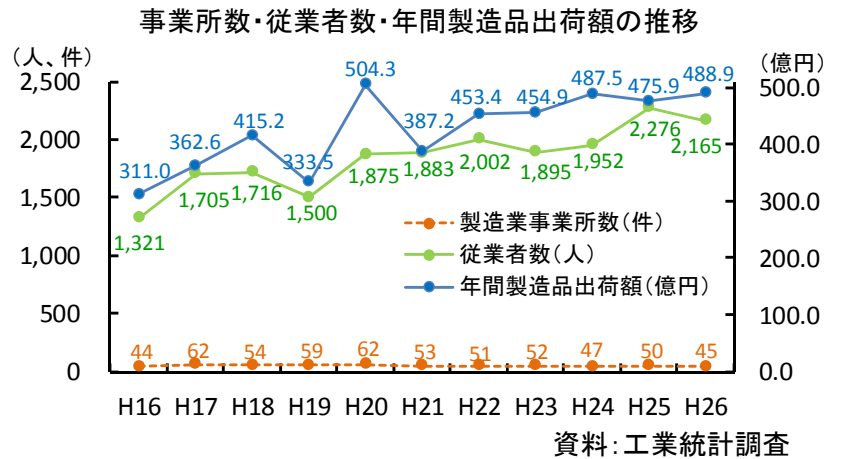
農業は、平成27年(2015年)現在、総農家数696戸、総経営耕地面積803haですが、後継者不足等から減少傾向にあります。



(2) 工業

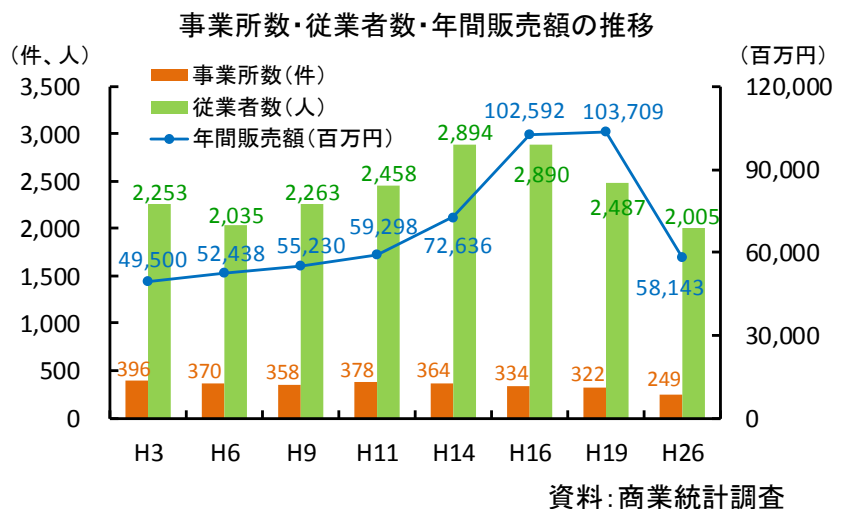
工業は、平成26年(2014年)現在、従業者数4人以上の製造業事業所数45件、従業者数2,165人、年間製造品出荷額約489億円です。

近年の推移としては、事業所数、年間製造品出荷額は横ばい、従業者数は増加傾向にあります。



(3) 商業

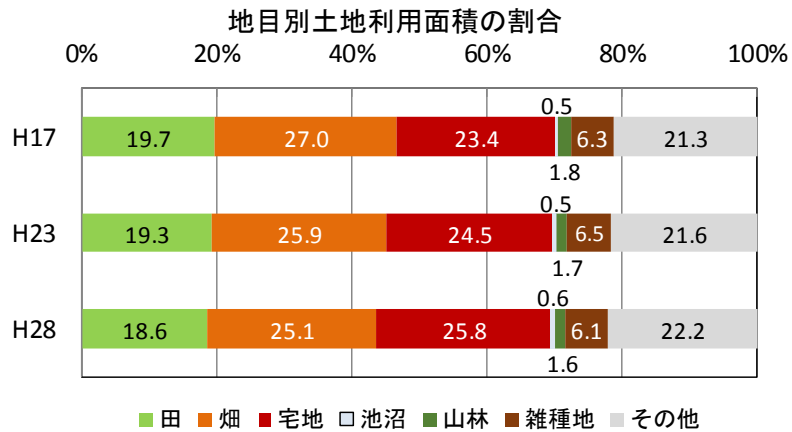
商業は、平成26年(2014年)現在、小売業と卸売業を併せて、事業所数249件、従業者数2,005人、年間販売額約581億円です。



平成21年(2009年)に経済センサスが創設されたことにより、商業統計調査の簡易調査が廃止された。平成23年(2011年)に商業統計調査の実施周期が経済センサス活動調査の実施の2年後に変更された。

4 土地利用

土地利用は、平成28年（2016年）現在、総面積2,492haのうち、農地43.7%（田18.6%、畑25.1%）、宅地25.8%、池沼0.6%、山林1.6%、雑種地6.1%、その他22.2%となっています。平成23年（2011年）との推移をみると農地は1.5ポイントの減少、宅地は1.3ポイントの増加となっています。



資料：固定資産概要調書

5 交通体系

(1) 鉄道

鉄道は、JR宇都宮線が本市のほぼ中央を縦断し、白岡駅と新白岡駅の2駅があり、平成27年度（2015年度）の1日平均乗降客数は、白岡駅が約26,000人、新白岡駅が約13,100人となっています。



白岡駅

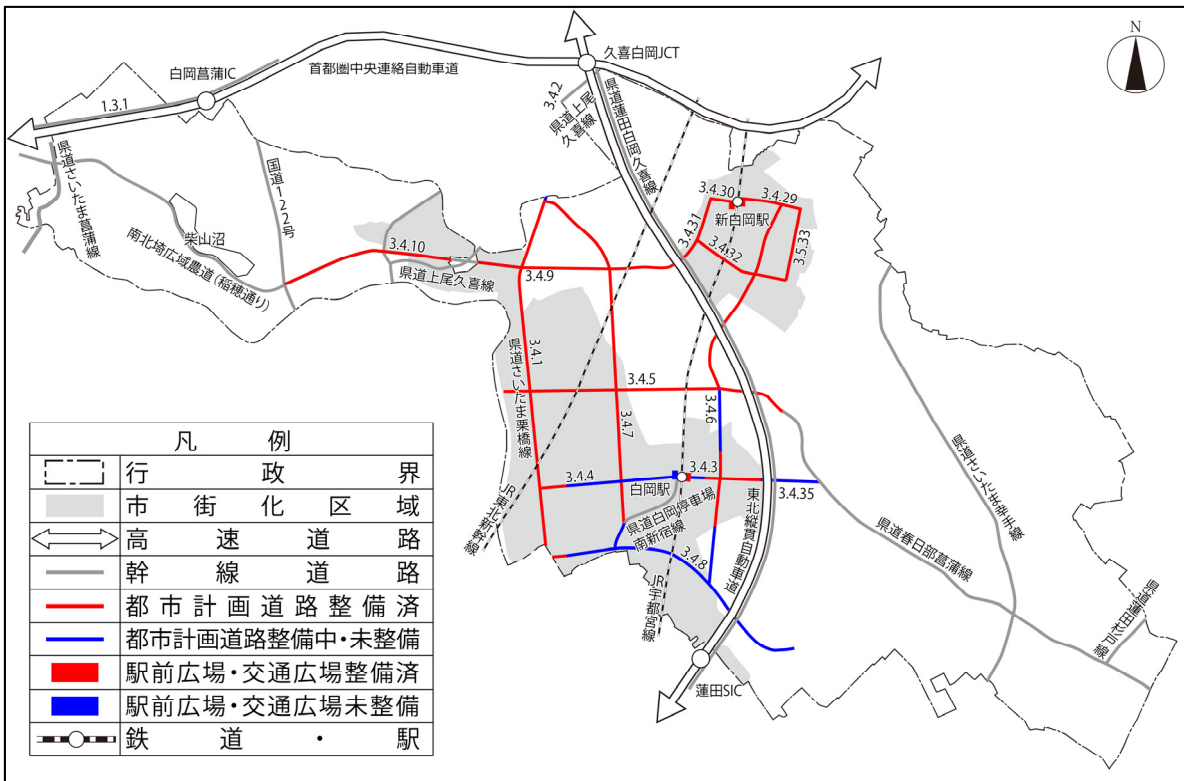
(2) 道 路

道路は、国道1路線、県道8路線が通過して骨格を形成しています。

また、高速道路である東北道及び圏央道の利用については、市内に白岡菫蒲インターチェンジ、隣接する久喜市に久喜インターチェンジ、蓮田市に蓮田スマートインターチェンジがあり、広域交通の利便性が高くなっています。

平成28年（2016年）3月現在の都市計画道路※の整備状況は、約71.2%となっています。市街化区域内及びその周縁部を中心に都市計画道路※の整備が完了又は事業中であり、道路ネットワークは、市街地を中心に概ね構築されてきている状況にあります。

都市計画道路※の整備状況図



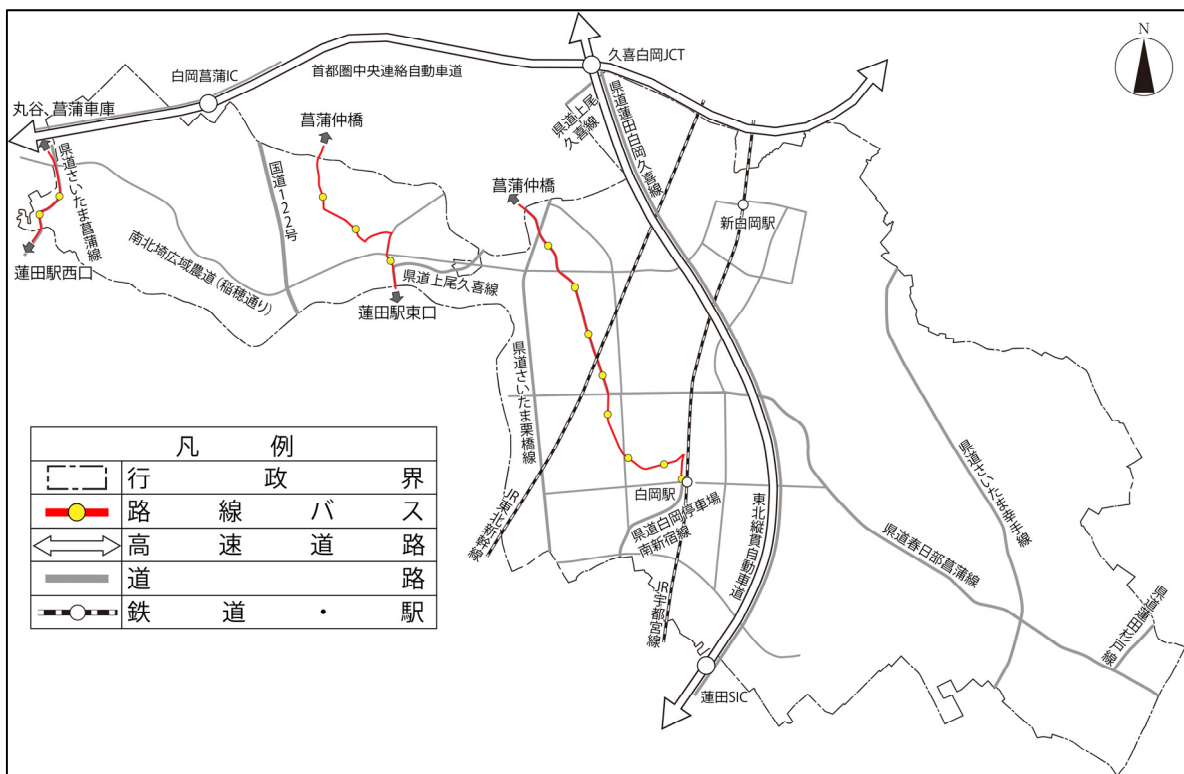
資料：都市計画道路※の整備状況図

(3) バス

民間路線バスは、3路線あり、そのうち市内の交通結節点である鉄道駅を通過する路線は1路線となっています。

民間路線バスを利用できない住民に対する地域公共交通については、利用状況や運行経費を勘案した中で、市内循環バスが廃止されてからデマンド型の「のりあい交通※」が整備され、特に交通弱者の方の利便性の向上と持続可能なサービスの提供を進めています。

バス路線図



資料：各民間路線バス会社路線図

6 水と緑

(1) 河川・用水

河川は、本市の南西部を流れる元荒川をはじめ、星川、野通川、隼人堀川、庄兵衛堀川、姫宮落川、備前堀川の7本の一級河川と多数の水路を有し、北西方向から南東方向に流れています。

用水は、見沼代用水やその支流の黒沼用水、笠原沼用水が本市の中央部及び東部を流れ、水田耕作において活用されています。

(2) 緑地

地目別土地利用を見ると、農地の割合が多く、本市の緑地環境の特徴となっています。一方で、山林の割合は少なく、主要な樹林地である屋敷林※や社寺林※は非常に貴重な緑地と言えます。これらの保全に向けて、「ふるさとの森※」、「保存樹林※」、「保存樹木※」としての指定を行っています。

また、市街化区域※内の農地等を将来にわたり保全するため、生産緑地※地区の指定を行っています。



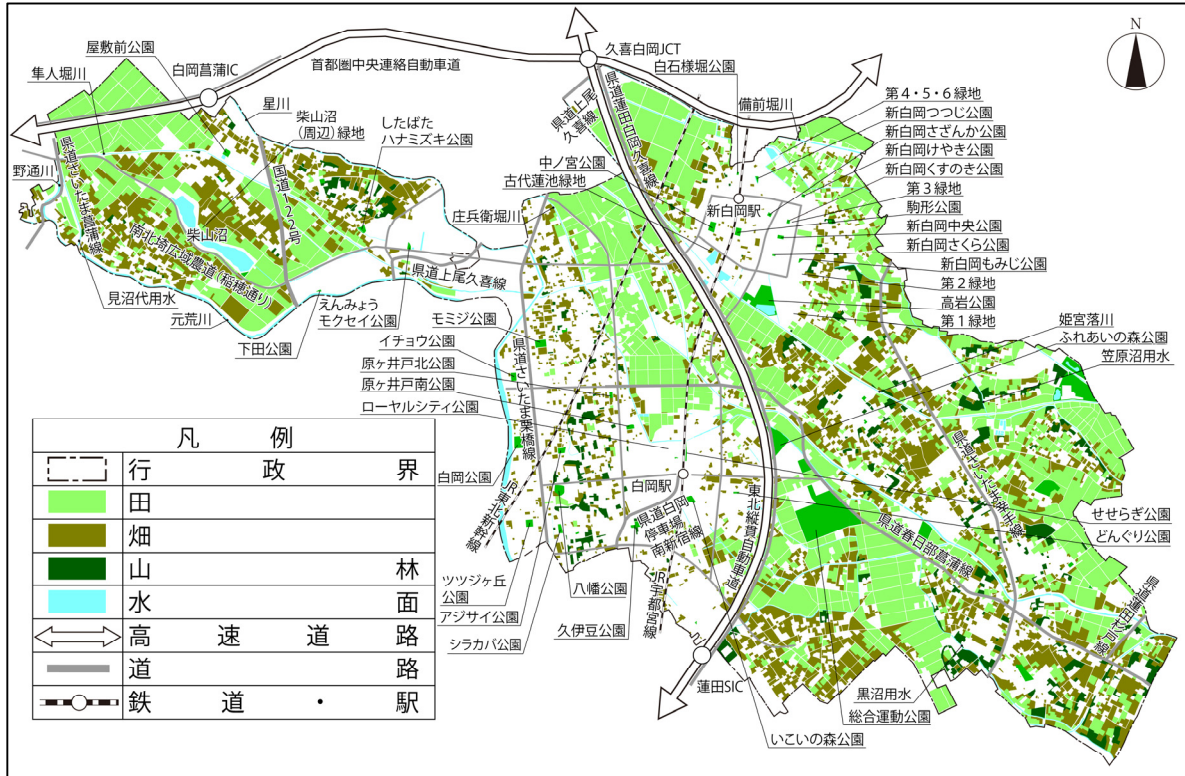
元荒川

ふるさとの森※：彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森、白岡東地区ふるさとの森、
八幡神社社叢^{しゃそう}ふるさとの森

保存樹林※・保存樹木※：保存樹林※9箇所、保存樹木※7本

生産緑地※地区：28地区、面積約4.15ha

緑地等分布状況図



(3) 公 園

都市公園※を含めた本市の公園数は32箇所であり、延べ26.2haが整備されています。

都市計画公園※は、平成29年（2017年）3月現在13箇所、7.7haを都市計画決定し、12箇所、7.4haが供用開始されています。



ふれあいの森公園



7 下水道(汚水)

下水道は、人口が集中している市街化区域[※]を中心に整備を進めており、平成27年度(2015年度)末時点で下水道普及率[※]は65.9%であり、下水道水洗化率[※]は94.5%となっています。

市街化区域[※]を中心とする中央部地域は公共下水道[※]事業、西部地域は農業集落排水事業[※]、その他の地域は合併処理浄化槽[※]事業で整備を進めており、市全体では、平成27年度(2015年度)末時点で生活排水処理率[※]は、78.0%となっています。農業集落排水事業[※]については、柴山地区、大山地区の2地区の整備が完了し、供用が開始されています。

8 防災

東北地方太平洋沖地震(以下「東日本大震災」という。)や平成28年熊本地震により、災害に強いまちづくりを進める必要性が更に高まっています。

本市では、災害発生時に備え、避難所[※]の確保や建築物等の耐震化を進めています。

避難所[※]は市立小中学校を中心に指定避難所を16箇所指定するとともに、災害種別ごとに指定緊急避難場所を指定しているほか、避難所[※]以外の支援避難所は、自治会館や集会所等32箇所、福祉避難所は、保健福祉総合センター(はびすしらおか)等4箇所を指定しています。

また、「白岡市建築物耐震改修促進計画」に基づく重点的な整備により、市内すべての学校施設等の公共建築物の耐震化が完了しています。民間建築物は、「改定白岡市建築物耐震改修促進計画」により、平成27年(2015年)3月現在で耐震化率は94%であり、平成32年(2020年)までに95%を目標としています。

地域の防災力を向上させるためには、自分の身を自分の努力で守る「自助」、地域や近隣の住民が互いに協力し合う「共助」の意識を醸成することの重要性が高まっている中で、自主防災組織は、平成28年(2016年)3月現在で26団体が設立され、組織率は79.6%となり、年々増加しています。

9 景観

本市では、都市化が進み、田園風景や水辺空間、名木、屋敷林[※]等の貴重な景観資源が減少しつつある中で、「埼玉県景観条例」、「埼玉県景観計画」に基づき、景観形成を図っています。

10 福祉

本市では、社会資本整備総合交付金※を活用し、白岡駅東口のエレベーターの設置や駅前広場に障がい者等乗降スペースの設置等を行いました。

また、「交通バリアフリー基本構想」に基づき、新白岡駅周辺においてエレベーター等の設置を行いました。

その他については、道路改良新設事業と併せてバリアフリー※化を進め、順次、歩道環境の整備を進めています。



障がい者等乗降スペース

11 都市計画の概況

(1) 都市計画区域※

本市は、蓮田都市計画区域（5,220ha）に含まれ、内訳は蓮田市（2,728ha）及び白岡市（2,492ha）となっています。

(2) 市街化区域※及び市街化調整区域※

市街化区域※は約545haで、本市の中央部と新白岡駅周辺に指定されており、市域面積の21.9%を占めています。

市街化調整区域※は約1,947haで、主に本市の東部と西部に広い範囲で指定されており、市域面積の78.1%を占めています。

(3) 地域地区

① 用途地域※及び防火・準防火地域※

用途地域※の構成割合は、住居系82.1%、商業系4.3%、工業系13.6%となっています。

防火地域の指定は、新白岡駅の東口地区及び西口地区の近隣商業地域8.0ha、準防火地域の指定は、白岡駅東口地区の近隣商業地域3.2ha、白岡西部産業団地地区15.7haとなっています。

用途地域[※]の指定状況

平成 28 年(2016 年)3 月現在

区 分		面積 (ha)
都市計画区域		2,492.0
市街化区域	市街化区域	545
	第1種低層住居専用地域	38.3
	第1種中高層住居専用地域	72.8
	第2種中高層住居専用地域	140.9
	第1種住居地域	156.9
	第2種住居地域	10.3
	準住居地域	28.0
	近隣商業地域	16.2
	商業地域	7.0
	準工業地域	8.0
	工業専用地域	66.3
市街化調整区域		1,947

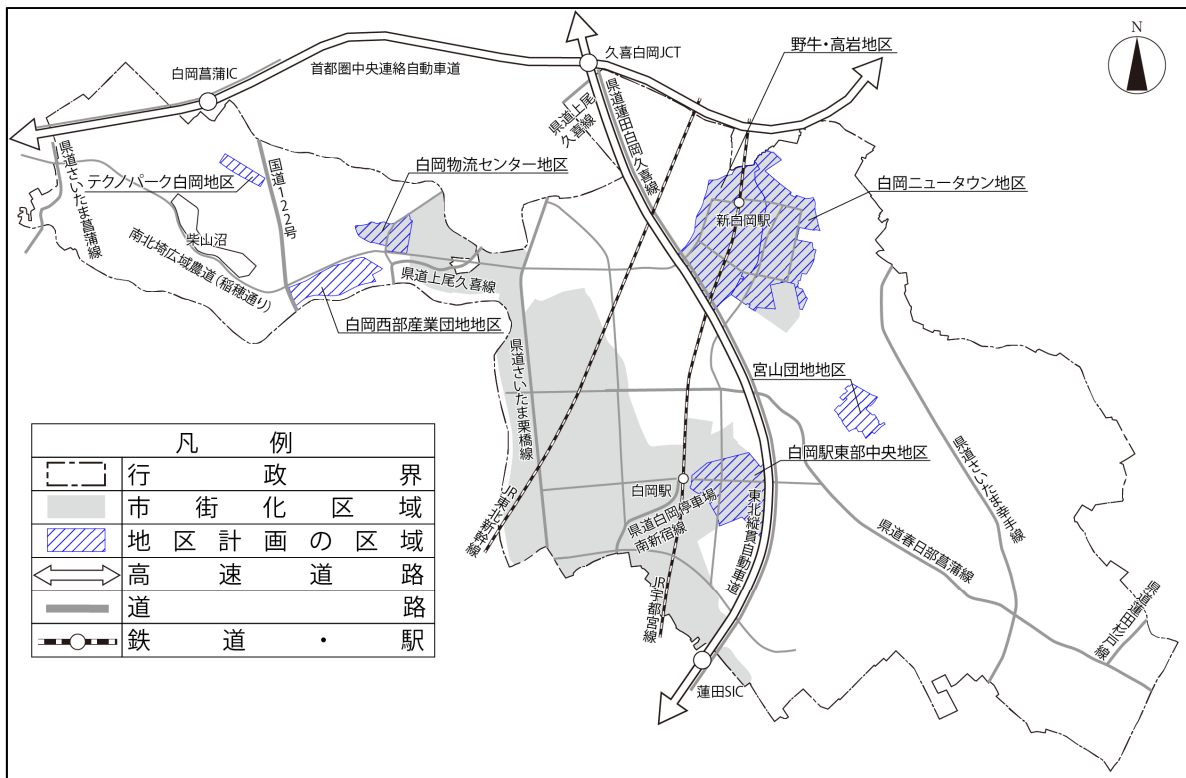
資料：街づくり課

市街化区域の面積は、各面積を合算しても端数処理の影響から合致しない。

② 地区計画[※]

地区計画[※]は、白岡ニュータウン地区約46.8haなど住居系が4地区、テクノパーク白岡地区約3.5haなど工業系が3地区の合計7地区が指定されています。

地区計画[※]の指定状況図





地区計画※の指定状況

地区名	決定・変更	面積 (ha)	用途地域	地区計画の ねらい	地区計画の動因
1 白岡ニュー タウン地区	S62.03.31 決定 H07.02.07 変更 H07.10.13 変更 H28.09.30 変更	約46.8	第1種低層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 近隣商業地域	戸建住宅を主体とした住宅開発地区に、建築物等の規制・誘導を行い、良好な住環境の形成・保持を図る。	市街化区域編入
2 野牛・高岩 地区	H07.02.07 決定 H07.10.13 変更 H28.09.30 変更	約56.2	第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 近隣商業地域	土地区画整理事業の効果を保持し、活力ある商業環境と良好な住環境の形成を図る。	土地区画整理事業
3 テクノ パーク 白岡地区	H10.03.02 決定 H28.09.30 変更	約3.5	市街化調整区域のため 無指定	市街地環境が損なわれないように、用途の混在を排除し、秩序ある土地利用を誘導する。	環境事業団による 整備
4 白岡駅東部 中央地区	H12.07.28 決定 H28.09.30 変更	約30.4	第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 近隣商業地域	土地区画整理事業による効果を維持・保全していくとともに、良好な商業環境と住環境の形成を図る。	土地区画整理事業
5 宮山団地 地区	H13.03.30 決定 H28.09.30 変更	約10.2 ※	市街化調整区域のため 無指定	良好な住環境を維持・保全するため、低層住宅区域を定め、秩序ある土地利用を図る。	住環境の保全
6 白岡物流 センター 地区	H14.07.26 決定 H28.09.30 変更	約8.7	工業専用地域	周辺環境や景観に配慮されたゆとりある良好な工業地を形成し、維持保全を図る。	市街化区域編入
7 白岡西部 産業団地 地区	H23.11.24 決定 H28.09.30 変更	約15.7	市街化調整区域のため 無指定	周辺環境（田園環境）と調和した産業基盤の計画的な整備を図る。	産業団地整備

宮山団地地区の開発区域面積は、10.5ha(H22 都市計画基礎調査)であるが、地区計画※の区域面積は約10.2haである。

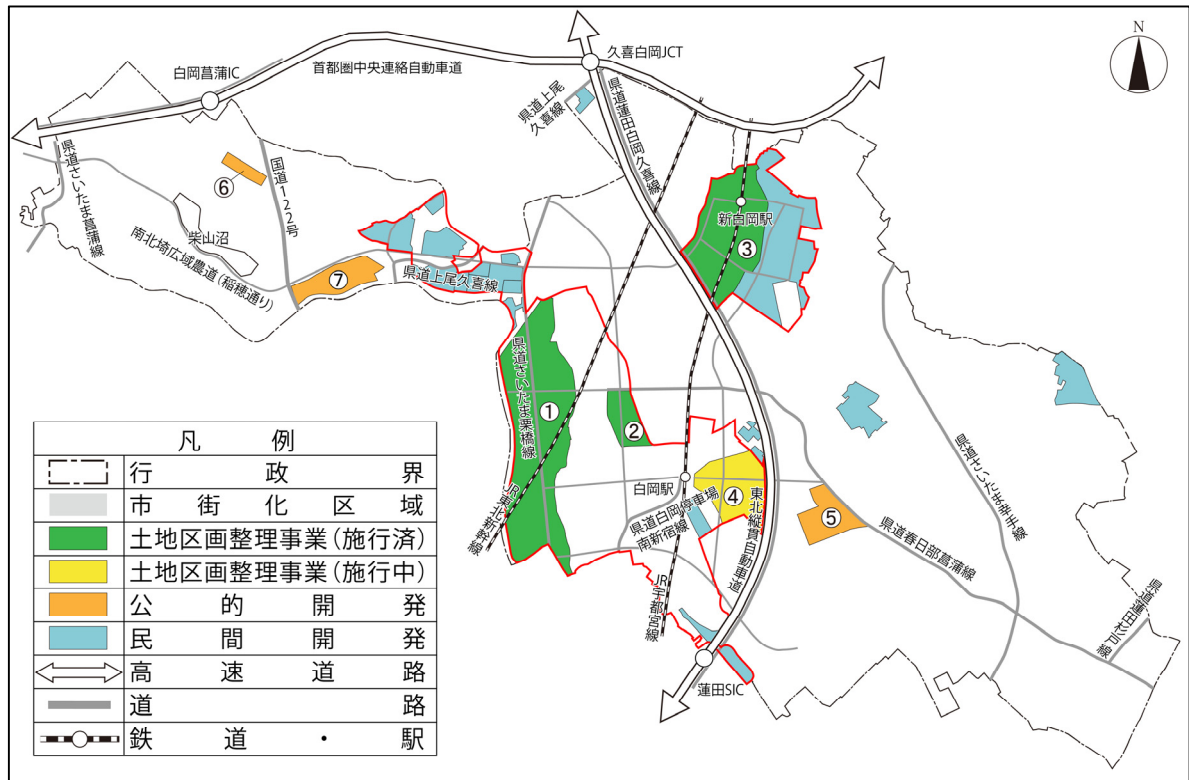
12 都市基盤整備状況

面整備の状況

土地区画整理事業※は公共施行により、白岡篠津土地区画整理事業98.6haが昭和52年（1977年）に、原ヶ井戸・東土地区画整理事業11.9haが平成15年（2003年）に、野牛・高岩土地区画整理事業56.2haが平成27年（2015年）に完了し、白岡駅東部中央土地区画整理事業30.4haが現在施行中となっています。

民間による大規模開発等（開発区域面積10.0ha以上）は、宮山団地10.5ha、白岡ニュータウン49.5ha等があります。

市街地開発事業※等位置図



市街地開発事業※等の状況

事業名	事業主体	施行年度		区域面積(ha)			計画人口
		開始	完了	計	市街化区域	調整区域	
1 白岡篠津土地区画整理事業	白岡町	S44	S52	98.6	98.6	0.0	8,000
2 原ヶ井戸・東土地区画整理事業	白岡町	S61	H15	11.9	11.9	0.0	1,200
3 野牛・高岩土地区画整理事業	白岡町	S62	H27	56.2	56.2	0.0	4,800
4 白岡駅東部中央土地区画整理事業	白岡町	H08	H40	30.4	30.4	0.0	2,700
5 総合運動公園	白岡町	H07	H07	14.9	0.0	14.9	0
6 ミニ工業団地	環境事業団※	H07	H09	3.9	0.0	3.9	0
7 白岡西部産業団地	埼玉県企業局	H24	H25	15.7	0.0	15.7	0